

# 四半期報告書

(第9期第3四半期)

株式会社 **レナウン**

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	4
1 【株式等の状況】 .....	4
2 【役員の状況】 .....	6
第4 【経理の状況】 .....	7
1 【四半期連結財務諸表】 .....	8
2 【その他】 .....	13
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	14

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2013年1月11日

【四半期会計期間】 第9期第3四半期(自 2012年9月1日 至 2012年11月30日)

【会社名】 株式会社レナウン

【英訳名】 RENOWN INCORPORATED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北 畑 稔

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田8丁目8番20号

【電話番号】 03-5496-8133

【事務連絡者氏名】 管理本部経理部長 長谷川 眞澄

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田8丁目8番20号

【電話番号】 03-5496-8133

【事務連絡者氏名】 管理本部経理部長 長谷川 眞澄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第8期 第3四半期 連結累計期間	第9期 第3四半期 連結累計期間	第8期
会計期間	自 2011年3月1日 至 2011年11月30日	自 2012年3月1日 至 2012年11月30日	自 2011年3月1日 至 2012年2月29日
売上高 (百万円)	53,678	55,137	74,603
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	774	689	△39
四半期純利益 又は当期純損失(△) (百万円)	114	1,084	△666
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△195	1,200	△806
純資産額 (百万円)	22,885	23,544	22,343
総資産額 (百万円)	42,856	43,483	38,147
1株当たり四半期純利益金額 又は当期純損失金額(△) (円)	1.41	13.43	△8.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	53.2	53.9	58.3

回次	第8期 第3四半期 連結会計期間	第9期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2011年9月1日 至 2011年11月30日	自 2012年9月1日 至 2012年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	35.62	44.50

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第8期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2010年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失が計上されている回次は記載しておりません。また、第8期第3四半期連結累計期間及び第9期第3四半期連結累計期間については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間(2012年3月1日から2012年11月30日まで)におけるわが国経済は、欧州での金融不安や中国の景気後退等を要因とした世界経済の減速により、輸出や設備投資が鈍化する等、景気の先行き不透明感から、個人消費は低調に推移いたしました。

このような中、当社グループでは、主な販路である百貨店において10月中旬まで気温の高い日が続いた影響で、秋物商戦が盛り上がりを欠き、9月、10月の売上高が前年実績を大きく下回りました。10月下旬以降は気温が低下したことに加えて、百貨店におけるコート強化施策等の効果により、冬物重衣料の販売が急速に伸張いたしました。また、ショッピングセンターおよびGMS向け販売が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は前年同四半期に対し増加いたしました。加えて、販売費及び一般管理費の削減等により営業利益は微増となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上したこと等により、四半期純利益は前年同四半期に比べて大幅に増加いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は551億3千7百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は5億5千3百万円(前年同四半期比2.5%増)、経常利益は6億8千9百万円(前年同四半期比11.0%減)、四半期純利益は10億8千4百万円(前年同四半期比851.5%増)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて53億3千6百万円増加し、434億8千3百万円となりました。これは、商品及び製品の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて41億3千5百万円増加し、199億3千9百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて12億円増加し、235億4千4百万円となりました。これは、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	140,000,000
計	140,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2012年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (2013年1月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	80,947,834	80,947,834	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	80,947,834	80,947,834	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2012年11月30日	—	80,947,834	—	17,005	—	5,751

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2012年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2012年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 154,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 80,288,900	802,889	—
単元未満株式	普通株式 504,034	—	—
発行済株式総数	80,947,834	—	—
総株主の議決権	—	802,889	—

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が40株含まれております。
- 3 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己保有株式が次のとおり含まれております。
- 自己保有株式 株式会社レナウン 40株

② 【自己株式等】

2012年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社レナウン	東京都品川区西五反田 8丁目8番20号	154,900	—	154,900	0.19
計	—	154,900	—	154,900	0.19

- (注) このほか、株主名簿上は旧株式会社レナウン名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が第2四半期末現在100株あります。
- なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。



## 2 【役員 の 状 況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員 の 異 動 は、次 の と お り で あ り ま す。

### (1) 新 任 役 員

該 当 事 項 は あ り ま せ ン。

### (2) 退 任 役 員

該 当 事 項 は あ り ま せ ン。

### (3) 役 職 の 異 動

新 役 名 及 び 職 名	旧 役 名 及 び 職 名	氏 名	異 動 年 月 日
取 締 役 上 席 執 行 役 員 R R M A P 推 進 本 部 長 兼 経 営 企 画 部 長	取 締 役 上 席 執 行 役 員 R R M A P 推 進 本 部 長 兼 コ ー ポ レ ー ト コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 長	神 保 佳 幸	2012年10月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2012年9月1日から2012年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2012年3月1日から2012年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,699	8,316
受取手形及び売掛金	8,949	11,756
有価証券	140	90
商品及び製品	7,653	12,153
仕掛品	610	419
原材料及び貯蔵品	710	679
その他	1,272	1,247
貸倒引当金	△123	△184
流動資産合計	29,912	34,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,494	7,669
減価償却累計額	△6,358	△6,569
建物及び構築物（純額）	1,135	1,100
機械装置及び運搬具	1,102	1,130
減価償却累計額	△884	△925
機械装置及び運搬具（純額）	218	204
土地	1,116	1,116
その他	2,660	2,769
減価償却累計額	△2,225	△2,274
その他（純額）	435	494
有形固定資産合計	2,906	2,916
無形固定資産		
その他	237	271
無形固定資産合計	237	271
投資その他の資産		
投資有価証券	2,203	2,172
差入保証金	2,416	3,010
繰延税金資産	20	20
その他	618	776
貸倒引当金	△167	△162
投資その他の資産合計	5,091	5,816
固定資産合計	8,234	9,004
資産合計	38,147	43,483

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,992	10,070
短期借入金	85	96
未払費用	2,716	2,782
未払法人税等	238	214
繰延税金負債	33	36
返品調整引当金	656	440
賞与引当金	89	152
その他	331	158
流動負債合計	10,143	13,950
固定負債		
繰延税金負債	150	215
退職給付引当金	4,831	5,055
役員退職慰労引当金	13	16
その他	663	702
固定負債合計	5,659	5,989
負債合計	15,803	19,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,005	17,005
資本剰余金	21,791	21,791
利益剰余金	△16,678	△15,593
自己株式	△125	△125
株主資本合計	21,992	23,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269	376
繰延ヘッジ損益	47	52
為替換算調整勘定	△57	△69
その他の包括利益累計額合計	259	359
少数株主持分	91	107
純資産合計	22,343	23,544
負債純資産合計	38,147	43,483

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2011年3月1日 至2011年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2012年3月1日 至2012年11月30日)
売上高	53,678	55,137
売上原価	28,956	29,997
売上総利益	24,721	25,140
販売費及び一般管理費	24,181	24,587
営業利益	539	553
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	58	60
受取地代家賃	317	244
その他	180	137
営業外収益合計	567	452
営業外費用		
支払利息	2	3
退職給付費用	100	100
持分法による投資損失	34	93
その他	194	119
営業外費用合計	332	316
経常利益	774	689
特別利益		
投資有価証券売却益	44	668
特別利益合計	44	668
特別損失		
固定資産売却損	161	—
減損損失	—	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	197	—
災害による損失	※1 227	—
貸倒引当金繰入額	—	57
移転費用	—	65
その他	27	—
特別損失合計	613	134
税金等調整前四半期純利益	206	1,223
法人税、住民税及び事業税	122	116
法人税等調整額	2	5
法人税等合計	125	122
少数株主損益調整前四半期純利益	81	1,101
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△32	16
四半期純利益	114	1,084

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81	1,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	106
繰延ヘッジ損益	△10	4
為替換算調整勘定	△34	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△13
その他の包括利益合計	△276	99
四半期包括利益	△195	1,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△161	1,184
少数株主に係る四半期包括利益	△33	16

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 2009年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)
※1 災害による損失 東日本大震災により被災した資産の修繕に係る費用、営業休止期間中の固定費等であります。	_____

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)
減価償却費	469百万円                      478百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2011年3月1日 至 2011年11月30日)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1円41銭	13円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	114	1,084
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	114	1,084
普通株式の期中平均株式数(株)	80,796,252	80,793,333

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年1月11日

株式会社レナウン  
取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 晶 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安永 千尋 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社レナウンの2012年3月1日から2013年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2012年9月1日から2012年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2012年3月1日から2012年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社レナウン及び連結子会社の2012年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	確認書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の8第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	2013年1月11日
<b>【会社名】</b>	株式会社レナウン
<b>【英訳名】</b>	RENOWN INCORPORATED
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 北畑 稔
<b>【最高財務責任者の役職氏名】</b>	取締役上席執行役員 神保 佳幸
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都品川区西五反田8丁目8番20号
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長北畑稔及び当社最高財務責任者神保佳幸は、当社の第9期第3四半期(自 2012年9月1日 至 2012年11月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。

